

環境保全に取り組む中小企業への主な支援策

環 境 省

- ・ エコアクション 21 について
- ・ エコプロダクツ大賞について
- ・ eco japan cup 環境ビジネス・ベンチャーオープンについて

. エコアクション21の概要

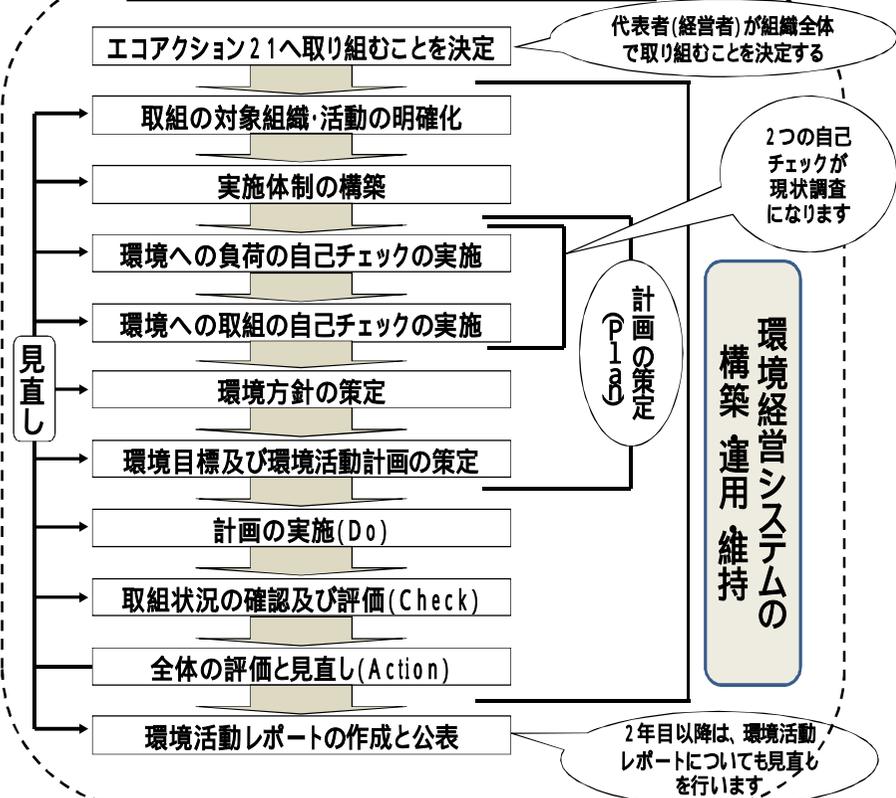
- エコアクション21とは -

事業者の環境への取組を促進するため、ISO14001を参考に環境省が策定した、中小事業者等でも取組やすい環境経営システム
 温室効果ガス・廃棄物・水の排出量及び化学物質使用量の管理・削減、グリーン購入、本業での環境配慮等、必要な環境への取組を規定

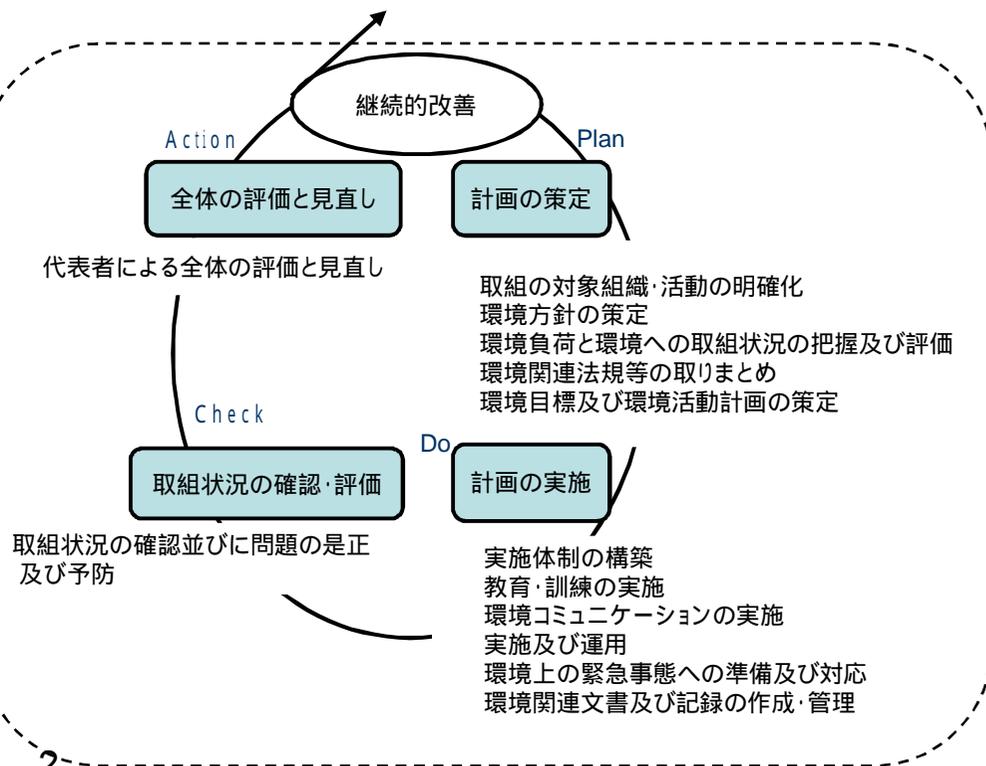
環境活動レポートの作成・公表を通じ、環境コミュニケーションにも取組

環境基本計画(平成18年4月閣議決定)、21世紀環境立国戦略(平成19年6月閣議決定)等で、中小事業者への環境経営促進策として規定。循環型社会形成推進基本計画(平成20年3月閣議決定)では、平成27年度までに6000件の認証・取得を目指す目標設定
 平成8年に「環境活動評価プログラム」として策定後、数次の改訂を重ね、平成21年「エコアクション21ガイドライン2009年版」を公表

- エコアクション21の取組手順 -



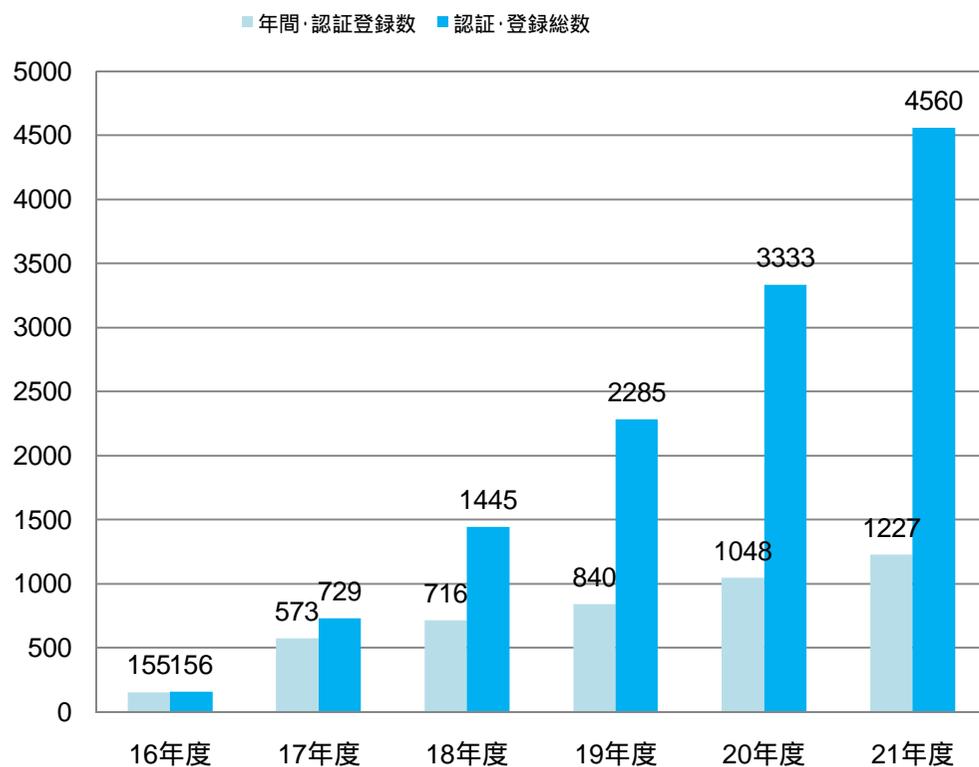
- 13の要求事項とPDCAサイクル -



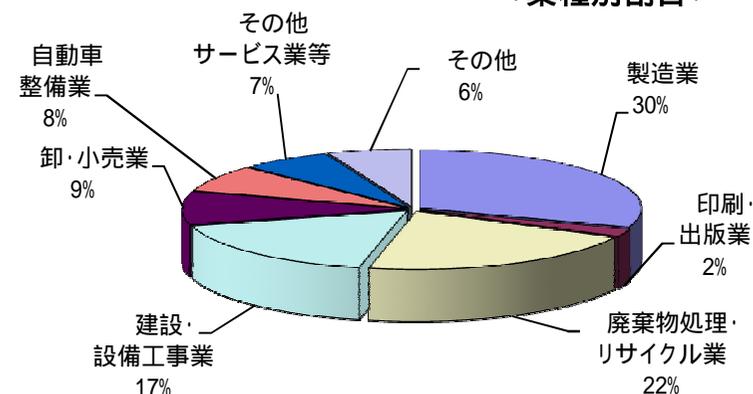
エコアクション21の普及促進と認証・登録制度

- ・ 環境省では、エコアクション21の取組を推進するため、その要求事項等の解説や取組のチェックリスト等を加えたガイドラインを策定
- ・ 事業者の環境への取組を適切に評価して必要な指導・助言を行うと共に、適切な取組を行う事業者に対し、第三者がガイドラインに適合していることを認めることにより、社会的な評価や信用を得られるようにする仕組みとして、「認証・登録制度」を平成16年より実施
- ・ 認証・登録制度は、財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターに設置された「エコアクション21中央事務局」が自主事業として運営
- ・ 環境省では、平成20年より、認証・取得(見込み)事業者を対象に、日本政策金融公庫による低利融資制度を設け、普及を推進

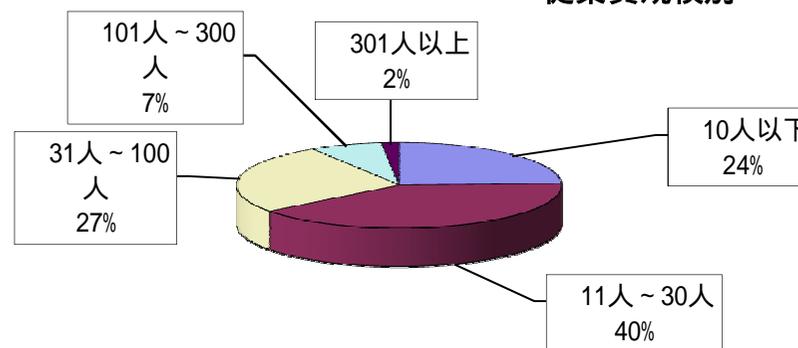
エコアクション21認証・登録の推移と現状
(H.16.10月～22.3月現在)



<業種別割合>



<従業員規模別>



．エコプロダクツ大賞について

1．エコプロダクツ大賞の目的

優れたエコプロダクツ（環境負荷の低減に配慮した製品・サービス）を表彰することによって、エコプロダクツに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業等の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されたもの。

また、中小企業のエコプロダクツへの取り組みを奨励するために、審査委員長特別賞(奨励賞)として中小企業のみを対象にした賞を設けている。

2．実施主体

- (1) 主催：エコプロダクツ大賞推進協議会（財団法人地球・人間環境フォーラム、社団法人産業環境管理協会等4団体で構成）
- (2) 後援（予定）：財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

3．表彰部門及び賞の種類

エコプロダクツ部門

環境負荷の低減を目的に開発された製品が対象

エコサービス部門」

環境負荷の低減を図っている新たな環境配慮型のサービスが対象

上記の部門ごとに、次の賞が用意されている。

エコプロダクツ大賞（関係省大臣賞）

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）

審査委員長特別賞（奨励賞） 中小企業のみが対象

4．審査委員 *は委員長

石谷 久* 東京大学名誉教授

辰巳 菊子 社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
常任理事

藤村 コノエ NPO法人環境文明21共同代表

棕田 哲史 日本経済団体連合会常務理事

山本 良一 東京大学生産技術研究所教授

財務省 （国税庁課税部酒税課長）

厚生労働省 （医政局経済課長）

農林水産省	(大臣官房環境バイオマス政策課バイオマス推進室長)
経済産業省	(産業技術環境局環境調和産業推進室長)
国土交通省	(総合政策局環境政策課長)
環境省	(総合環境政策局環境経済課長)

5. 過去の審査委員長特別賞(奨励賞)

第6回(平成21年度実施)

- ・ ヘックメック(未来の子供たちにエコ心を伝える、教える)(HM01)
従来金属比で、CO₂換算で40%地球温暖化効果ガスを抑制した子ども専用の折りたたみイス
- ・ プレーリールーフ
土を使用せずに常緑植物のヘデラを溶液循環方式で繁茂させることで、従来方式では対応できない建物へも適用可能とした屋上緑化
- ・ バイオマスマネキン
植物などから生まれた再生できる有機性資源のマネキン

第5回(平成20年度実施)

- ・ 環境配慮型繊維染色技術
大量の熱と水が必要な加工工程を省き、水使用量を約95%、エネルギー消費量を約50%削減した染色技術
- ・ 「ランプ to ランプ」を目指す蛍光管リサイクル事業
可能な限り元の原料に戻して再資源化を図り、これらの原材料を再利用した蛍光ランプを製造・販売するサービス
- ・ 鶏糞焼却によるバイオマス発電
家畜排せつ物である鶏糞を焼却した熱の全量を電気エネルギーに変換するシステム

第4回(平成19年度実施)

- ・ 地中熱を利用した基礎空調換気システム(ジオパワーシステム)
地中熱を基本とした自然エネルギーを、蓄熱層を利用して直接利用する基礎空調換気システム
- ・ 後付け複層ガラス(ポケットサッシ6)
既存の窓ガラスに別のガラス及びフィルムをはめ込み複層化する、後付けサッシ
- ・ 木製ブロック「つみっく」
間伐材を含む国産スギ材を原料とする合板から作られた軽量な中空ブロック

日本発、世界の経済をエコ化する！



エコビジネスの芽を見つけ、育てるコンテスト。

eco japan cup 2010

事業のご案内

21世紀の世界経済を牽引する 「環境ビジネス」を育てる！

持続可能な社会の実現に向けて、官庁、企業、市民と産官民協働で取り組む、「エコビジネスの芽を見つけ、育てるコンテスト」「eco japan cup」。

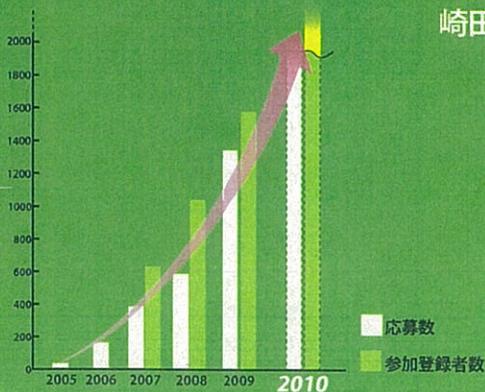
この事業は、2005年の愛知万博「愛・地球博」イベントのひとつ、環境ビジネスアイデアコンテスト「環境ダイナマイト！」として誕生しました。

2006年に「eco japan cup」と名称を改め、ビジネス部門とエコアートのコンテストを実施。2007年からは、環境ビジネスウィメンが総合運営事務局となり、「日本発！世界の経済をエコ化する」をコンセプトに、ビジネス部門だけでなくカルチャー部門、ライフスタイル部門へもカテゴリーを拡大し、2009年からはポリシー部門を新設しました。経済に関わる全ての人たちをECOの環で繋ぐことで、経済の価値観そのものをChangeしていくことを目指しています。

「eco japan cup」は、賞を付与するだけの単なるコンテストではありません。産学協同研究、投資家や企業とのビジネスマッチングを支援。応募者のメリットはもとより、協賛企業にとってもWINとなる、CSR活動や環境ビジネスを発展させる出会いの場としています。この「eco japan cup」へ多くの企業が参加し、それぞれの立場で協働していただくことによって、真の環境共生・循環型経済、持続可能な社会の早期実現も夢ではないと考えております。

産官民協働事業「eco japan cup」は、環境と経済の好循環を実現し、日本のチャレンジ25政策を牽引する重要な一役と位置づけられています。本事業の趣旨にご賛同いただき、ぜひとも多くの企業に参加していただきたく、心よりお願い申し上げます。

eco japan cup 総合運営事務局
環境ビジネスウィメン代表理事
崎田裕子



応募・参加登録者数推移

[主催] 環境ビジネスウィメン
環境省、総務省
日本政策投資銀行
三井住友銀行
[後援] 省庁・全都道府県を含む
計73団体・企業



参加登録者数:1,574人
応募数:1,327件
授与賞数: 62

2009

[主催] 環境ビジネスウィメン
環境省、総務省
三井住友銀行
[後援] 省庁・全都道府県を含む
計72団体・企業



参加登録者数:1020人
応募数: 584件
授与賞数: 36

2008

[主催] 環境ビジネスウィメン
環境省
三井住友銀行
[後援] 省庁・全都道府県を含む
計68団体・企業



参加登録者数:620人
応募数: 385件
授与賞数: 31

2007

[主催] eco japan cup 2006 実行委員会
環境ビジネスウィメン
NPO法人アースデイ・エブリデイ
環境省
三井住友銀行
[共催] 三菱東京UFJ銀行
[後援] 計14団体・企業



応募数: 161件
授与賞数: 29

2006

[主催] 環境ダイナマイト!2005実行委員会
環境ビジネスウィメン
NPO法人アースデイ・エブリデイ
エコビジネスネットワーク
環境省
環境ビジネス探偵団
名古屋市

愛知万博「愛・地球博」のイベントとして
「環境ダイナマイト!2005」を開催する。

応募数: 34件
授与賞数: 4

2005



- ◆ 主催
 - 一般社団法人 環境ビジネスウィメン
 - 環境省
 - 総務省
 - 株式会社日本政策投資銀行
 - 株式会社三井住友銀行

- ◆ 開催スケジュール
 - イベント告知 5月中旬
 - 応募受付 6月22日(火)～7月30日(金)
 - 発表展示 12月9日(木)～11日(土) エコプロダクツ 2010 会場内
 - 表彰式 12月10日(金) 東京ベイ有明ワシントンホテル

2009実績

- ◆ 実行委員会構成メンバー (敬称略)
 - 委員長 山本 良一 (東京大学教授)
 - 副委員長 木内 孝 (サステナビリティ日本フォーラム会長)
 - 副委員長 崎田 裕子 (環境ビジネスウィメン代表理事)
 - 委員 奥 真美 (首都大学東京都市教養学部教授)
 - 委員 鈴木 淳史 (横浜国立大学大学院環境情報研究院教授)
 - 委員 前田 正尚 (株式会社日本政策投資銀行設備投資研究所地球温暖化研究センター主任研究員)
 - 委員 條 晴一 (株式会社三井住友銀行経営企画部 CSR 室長)
 - 委員 石飛 博之 (環境省総合環境政策局環境経済課長)
 - 委員 黒田武一郎 (総務省地域力創造グループ地域政策課長)
 - 委員 市川 雅一 (内閣官房地域活性化統合事務局次長)
 - 委員 大塚 洋 (国土交通省総合政策局環境政策課長)
 - 委員 西郷 正道 (農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課長)
 - 委員 村田 有 (経済産業省環境政策課環境調和産業推進室長)
 - 委員 盛田 明彦 (日本経済新聞社イベント事業本部長)

- ◆ 後援

外務省	朝日新聞社	NPO法人環境経営学会	(社)日本グラフィックデザイナー協会
経済産業省	産経新聞社	(社)経済同友会	(社)日本パッケージデザイン協会
国土交通省	東京新聞	東京商工会議所	日本ベンチャーキャピタル協会
内閣府	日本経済新聞社	(社)日本インテリアデザイナー協会	日本貿易振興機構(ジェトロ)
農林水産省	毎日新聞社	日本商工会議所	低炭素都市推進協議会
文部科学省	読売新聞社	(社)日本経済団体連合会	
文化庁	日経BP社	(社)日本青年会議所	

北海道	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	(順不同)

- ◆ 連携団体
 - 【カルチャー部門連携】 CHIKYU RECORDS
 - 【ライフスタイル部門連携】 NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット

- ◆ 協力団体

深瀬記念視覚芸術保存基金	muzie
MTV Japan Inc.	株式会社クレコ・ラボ

- ◆ 企業賞提供
 - 日本郵政グループ
 - 株式会社電通
 - 株式会社キッズシティージャパン

- ◆ 一般協賛団体

株式会社五十嵐商会	積水ハウス株式会社	東京電力株式会社
株式会社 NTT ドコモ	大和ハウス工業株式会社	日本 GE 株式会社
株式会社環境経営戦略総研	東京ガス株式会社	富国生命保険相互会社
佐川急便株式会社	三井住友ファイナンス & リース株式会社	三井不動産株式会社

- ◆ **事業名称** エコビジネスの芽を見つけ、育てるコンテスト「eco japan cup 2010」
- ◆ **事業コンセプト** このコンテストを通じて、経済のステークホルダーをecoでつなぐことで、新たな経済価値を創り出していきます。

◆ eco japan cup エントリー部門・カテゴリー

ビジネス部門	◇環境ビジネスアワード	対象:大手企業	
	ロールモデルというべき環境ビジネスに成功した企業を選定し表彰	●ハード部門	●ソフト部門
ビジネス部門	◇環境ビジネス・ベンチャーオープン	対象:個人事業者、NPOを含む中小企業、ベンチャー企業	
	個人事業者・NPOを含む中小企業・ベンチャー企業からの環境ビジネスプランを募集	●大賞 …………… 300万円	●企業賞 …………… 各50万円 ●敢闘賞 …………… 100万円
カルチャー部門	◇エコデザイン・コミュニケーション	対象:プロダクト・デザイナー、グラフィック・デザイナー、CMクリエイター	
	持続可能な社会を促進するための製品デザイン、CMなどの商用・実用デザインを募集	●グランプリ …………… 各100万円	●企業賞 …………… 各30万円 ●準グランプリ …………… 各50万円
カルチャー部門	◇エコミュージック	対象:ミュージシャン	
	エコロジーという領域の音楽を募集	●グランプリ …………… 100万円	●企業賞 …………… 30万円 ●準グランプリ …………… 50万円
カルチャー部門	◇エコアート	対象:アーティスト	
	エコロジーという領域の芸術を募集	●グランプリ …………… 100万円	●企業賞 …………… 30万円 ●準グランプリ …………… 50万円
カルチャー部門	◇キッズ・エコアート	対象:小学生低学年の部(1年~3年) 小学生高学年の部(4年~6年)	
	こどもたちのエコを表現する優れたイラストを募集	●グランプリ …………… 図書カード3万円 2名(各部門1名)	●準グランプリ …………… 図書カード2万円 4名(各部門2名) ●三井住友銀行賞 …………… 図書カード1万円 2名(各部門1名) ●キッズニア賞 …………… 図書カード1万円 2名(各部門1名) ●審査員応援賞 …………… 図書カード5千円 4名(各部門2名)
ライフスタイル部門	◇エコチャレンジ!	対象:個人または家族など個人的なグループ	
	エコロジカルな暮らしの工夫やアイデアを広く募集	●エコチャレンジ!大賞… 30万円	●企業賞 …………… 各5万円 ●エコアイデア賞 …………… 10万円
ライフスタイル部門	◇市民が創る環境のまち“元気大賞”	対象:市民グループ、団体、事業者、NPO、行政を交えた市民ネットワーク	
	環境活動で地域を活性化している市民グループ活動を募集	●元気大賞 …………… 30万円	●特別賞 …………… 各5万円 ●奨励賞 …………… 各10万円
ライフスタイル部門	◇エコセレブ・オブザイヤー	対象:持続可能な社会へ向けての活動や、環境に配慮したライフスタイルの実践に取り組む著名人	
	環境ビジネスや環境活動を支援するセレブを選出、表彰	●エコセレブ・オブザイヤー2010	
ポリシー部門	◇環境ニューディール政策提言	対象:特に問いません	
ポリシー部門	「環境と経済の好循環」を推進する具体的な政策の提案を募集	●グリーン・ニューディール 優秀提言 …………… 適宜	●サステナビリティ 優秀提言 …………… 適宜
ポリシー部門	環境をテーマに、他の企業・団体とのコラボレーションによるコンテストを行う。		

※受賞者には上記賞金ならびに表彰状贈呈。大賞、グランプリ以外は複数受賞の場合あり。作品はホームページならびに「エコプロダクツ」会場にて展示発表・表彰します。

環境ビジネス・ベンチャーオープン受賞者一覧(過去3ヶ年)

【環境ビジネスベンチャーオープン】

NPO、中小企業やベンチャー企業の環境ビジネスモデルでまだ社会的認知の低い事業、又はまだ事業化していない企画を募集し優れたものを表彰し賞金を授与する。

2009年

株式会社マイファーム

『耕作放棄地を減らして環境理解の場「体験農園マイファーム」へ』

株式会社日本バイオマス研究所

『新規微細藻類による二酸化炭素吸収、バイオマス固形燃料発電事業』

清和工業

『設備電源自動遮断装置』

有限会社仲田種苗園

『地域性種子を活用した都市の生物多様性の復元』

株式会社ア・ダンセ

『ブルキナファソにおける住民森林管理グループ生産のシアバター使用石鹸販売事業』

株式会社HYPER DRIVE

『世界初！高効率・低コストの波力発電システム「人工筋肉波力発電」』

2008年

株式会社環境経営総合研究所

『廃棄紙を主原料にしたポストプラスチック原料 MAPKA(マプカ)事業』

株式会社ピコ・エイダ

『業務用厨房 節水・省エネルギー機器の製造・販売事業』

日本環境設計株式会社

『エネルギー地産地消モデルを構築するバイオエタノール生産ビジネスモデル』

株式会社ピースウェイブ

『バイオマスが開く資源循環型ゼロ・ミッションの農業と地域の未来』

合同会社マイアース・プロジェクト

『地球環境カードゲーム「My Earth」』

イマジニアリング株式会社

『マイクロ波パルスプラズマ技術を用いた VOC ガス低減』

2007年

株式会社ゼネシス

『海洋温度差発電(OTEC)技術を核とした温度差発電ビジネス』

株式会社コスト削減総合研究所

『"見える化"による「人」創り、エコな「現場」創り』

株式会社アネックス

『5×緑(ゴバイミドリ) 東京里山計画』

LBA(ロハス・ビジネス・クライアント)

『LOHASビジネスコミュニティ』